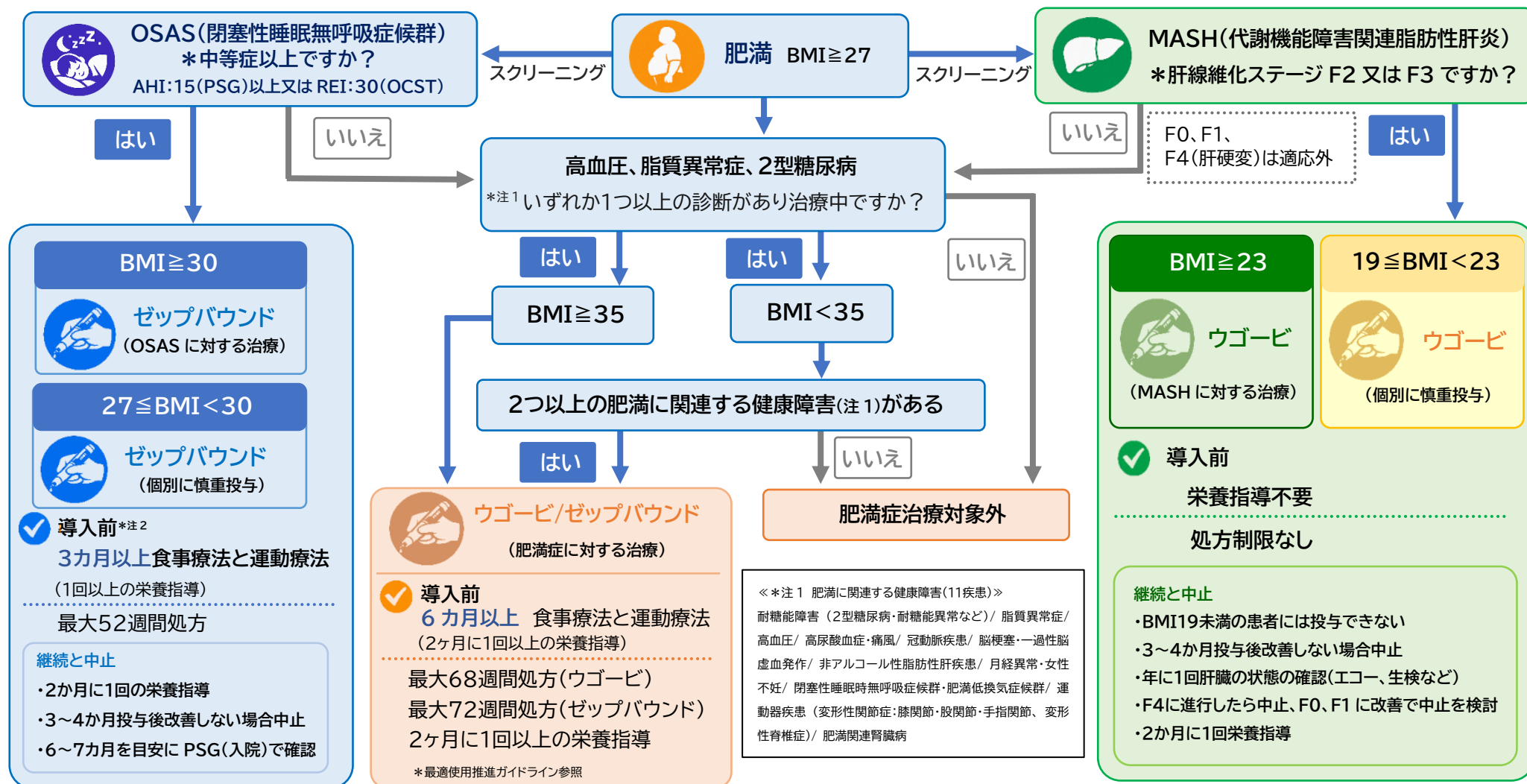


肥満症治療薬 選択アルゴリズム（ウゴービ/ゼップバウンド）



共通事項

- ・生活習慣の改善(食事・運動療法)はすべての患者で基本となります。
- ・糖尿病の有無、消化器症状、費用負担、減量目的なども考慮して決定します。
- ・定期的な効果判定と副作用モニタリングを行い、必要に応じて治療方針を見直します。

*注2: 肥満低換気症候群(CPAP による治療でも改善しない場合)や心不全と診断される患者においては導入前の栄養指導を必要としません。

薬剤の特徴

- ウゴービ** : GLP-1 受容体作動薬(セマグルチド)
MASH 改善効果・体重減少効果に期待
- ゼップバウンド** : GIP/GLP-1 受容体作動薬(チルゼパチド)
OSAS 改善効果・体重減少効果に期待